

「気候変動～その影響と対策」

シンポジウム開催報告

本年度より環境研究総合推進費戦略研究プロジェクト S-14 「気候変動の緩和策と適応策の統合的戦略研究」(代表：沖大幹東京大学教授)が始まりました。去る6月6日(土)に東京大学生産技術研究所にて国内外での緩和策と適応策との統合的な実施による、強靱で持続可能な社会の構築に向けた政策に貢献する研究開発について、専門家による情報提供を行い、市民と共に考えるための一般公開シンポジウムを開催いたしました。

冒頭に藤井輝夫東京大学生産技術研究所長よりご挨拶をいただき、その後各テーマリーダーからの講演に続き、質疑応答が行われました。参加者は約120名と、土曜日の朝にも関わらず多くの方に足を運んでいただき、会場内で配布したアンケートには57名の方に回答を頂きました。大変興味深かったという回答も多く、非常に有意義なシンポジウムとなりました。

日時：2015年6月6日(土) 10:00～12:00

場所：東京大学生産技術研究所 An棟コンベンションホール

参加者：119名

プログラム：

- ◆ はじめに 東京大学生産技術研究所 所長 藤井輝夫
- ◆ 講演
 - ◆ 「なんのためにどう対策するのか？」 東京大学生産技術研究所 教授 沖大幹
 - ◆ 「風車は環境に優しいか？～自然保護との両立～」 横浜国立大学大学院 教授 松田裕之
 - ◆ 「地球全体でいくら必要か？」 東京大学大学院工学系研究科 准教授 平林由希子
 - ◆ 「アジア大都市への応用」 東京工業大学大学院理工学研究科 教授 神田学
 - ◆ 「対策の効果を包括的に評価する方法を探る」 国立環境研究所社会環境システム研究センター 室長 肱岡靖明
- ◆ 閉会 司会 福島県立医科大学 准教授 村上 道夫

主催：環境省環境研究総合推進費 戦略研究プロジェクト S-14

共催：東京大学生産技術研究所